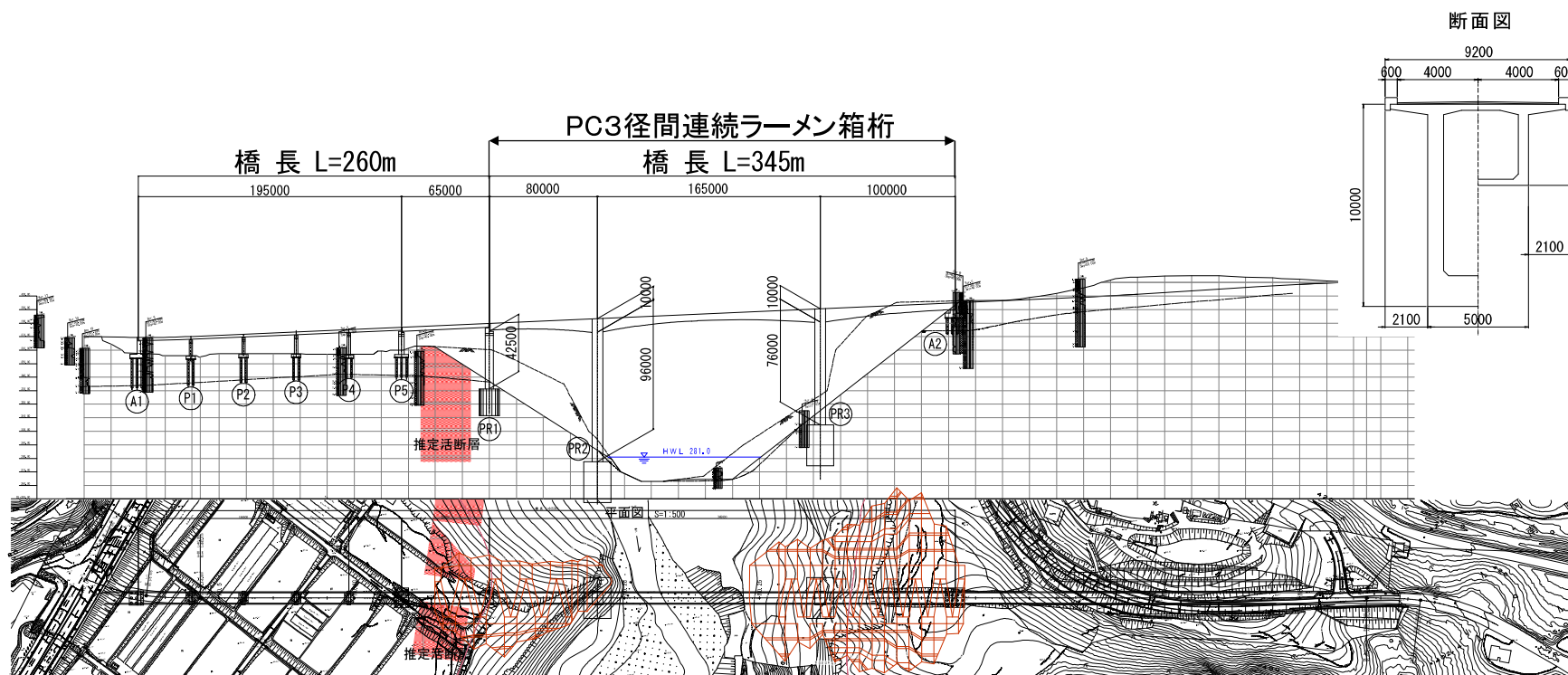


第4回 国道325号ルート・構造 に関する技術検討会

平成30年3月23日(金)
国土交通省九州地方整備局
熊本復興事務所

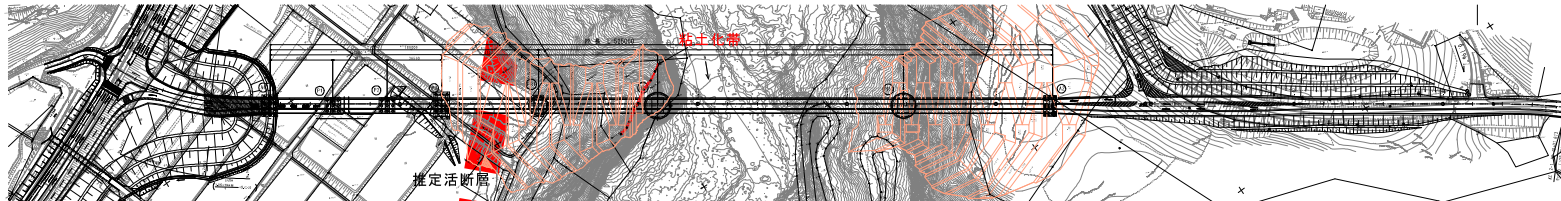
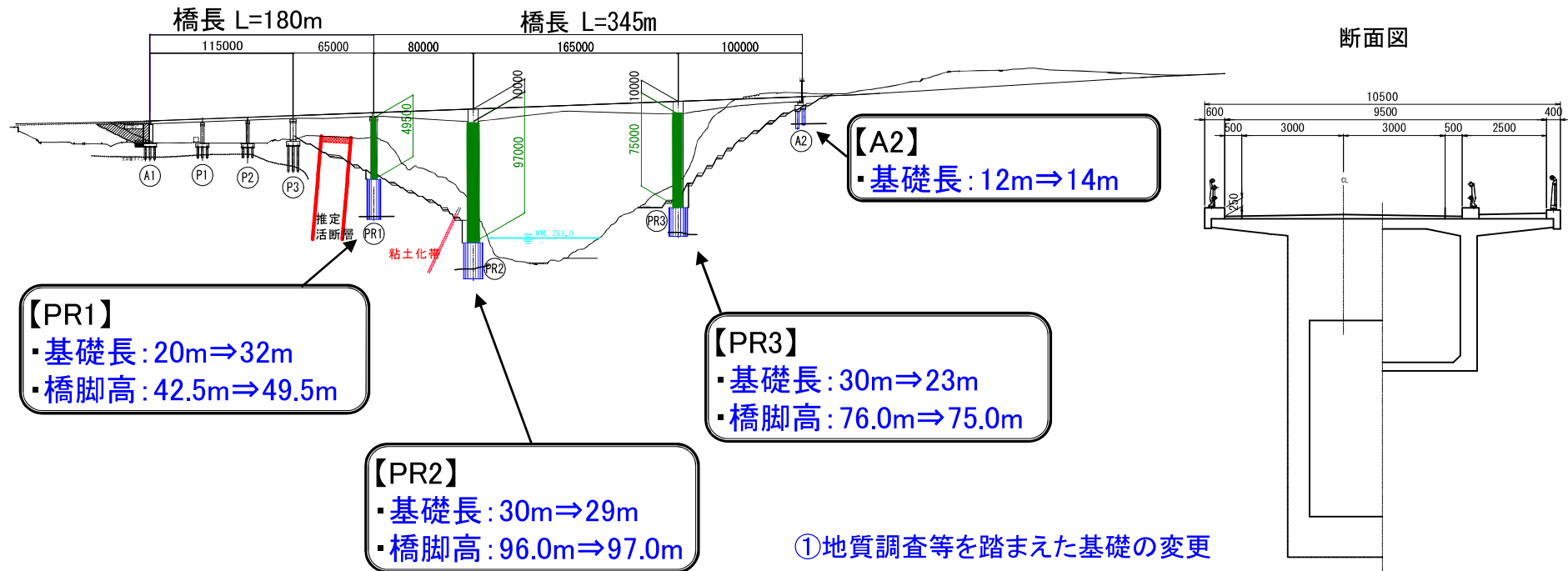
1. 第3回検討会で選定された橋梁形式



- 将来の地震で地盤変状が生じた場合でも橋の倒壊に至りにくい構造形式
- 推定活断層の位置を避けた下部構造の配置
- 工期の短い形式
- 観光の玄関口としての景観性への配慮

2. 橋梁設計の確認

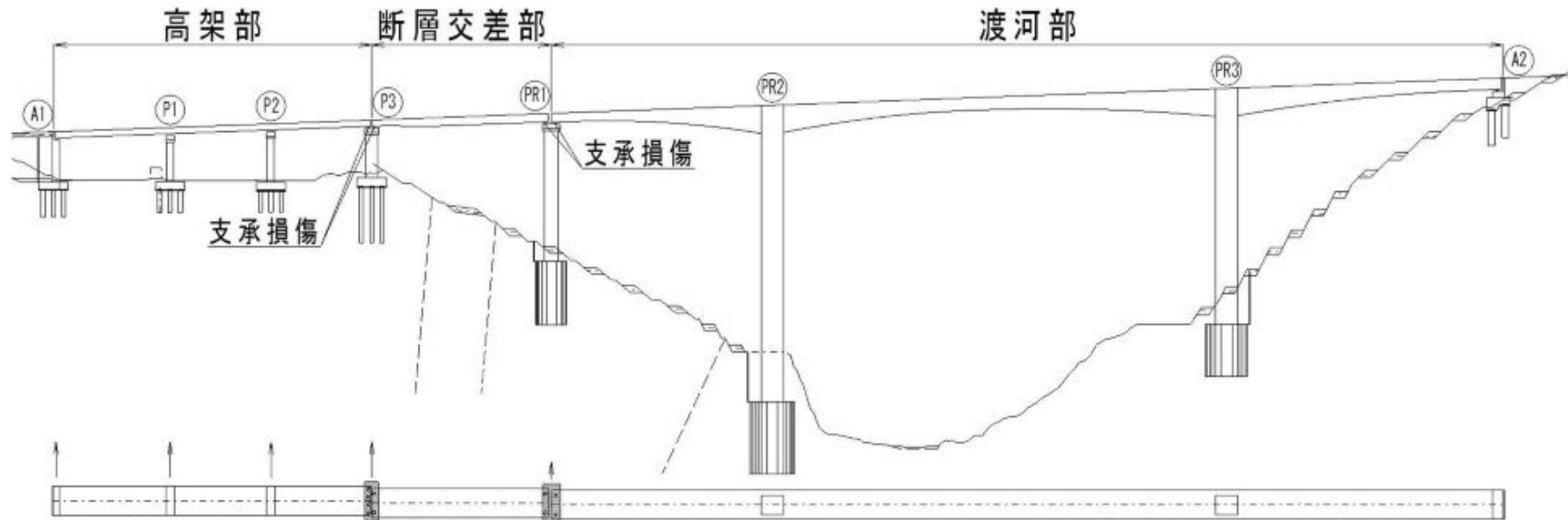
①地質調査を踏まえた橋梁設計の確認



※第3回技術検討会時との比較

2. 橋梁設計の確認

②推定活断層等を踏まえた橋梁設計の確認



断層変位レベル	・H28熊本地震と同程度	<p>影響を最小化する方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部を先行損傷させる。 ・落橋しないよう沓座を拡幅する。 <p>P3・PR1橋脚正面図</p>
損傷させる部材	支承部	
想定するシナリオ	支承など一部の部材に損傷が生じるが落橋には至らない	

※上記は設計で想定している状況の一例

3. 橋梁設計の確認後の完成イメージ

(1) 完成イメージ



4. 施工計画の概要

(1) 施工状況

①右岸



②左岸



4. 施工計画の概要

(2) 阿蘇大橋橋脚完成イメージ

①右岸(堆積土砂撤去+橋脚完成後)



②左岸(橋脚完成後)



4. 施工計画の概要

(3) 法面部の基礎工施工の対応

阿蘇大橋の基礎工施工は、**土留工法**を採用。**掘削範囲を必要最小限に抑えることが可能。**

